

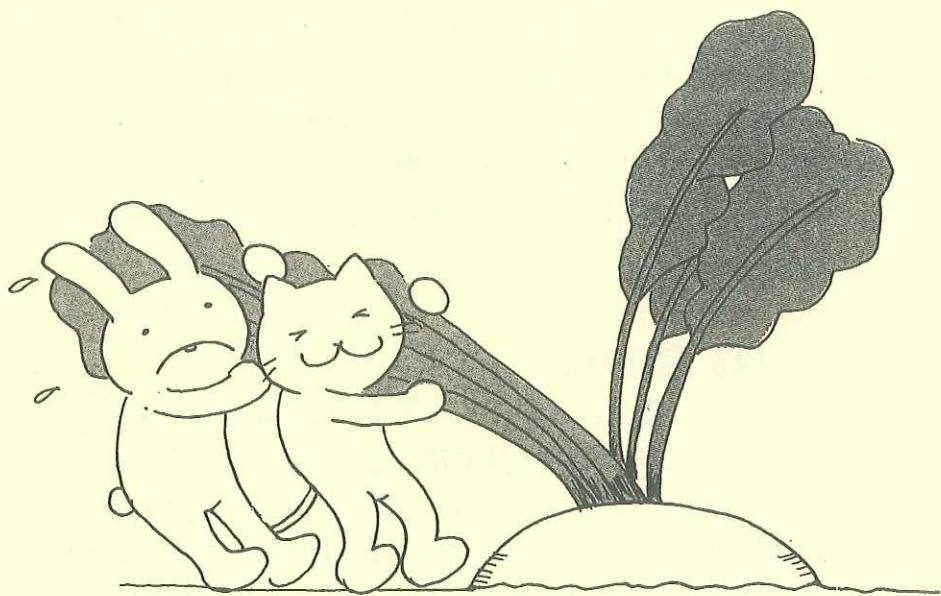
一般向け 今川図書館だより

いまがわーるど

2016年4月号

今月のテーマ

「文学と植物」



今月の特集「文学と植物」

今月は文学上の植物をテーマに、自然の描写が美しい本、物語にそっと彩りをそえてくれる花が登場する本などをご紹介。
どんな植物が出てくるかは読んでからのお楽しみ。
本の中に広がる自然をみつけてみませんか。

『みどりのゆび』

モーリス・ドリュオン 作 2009年 岩波書店 950ト(YAコーナー)

裕福にくらす少年チトのお父さんは、戦争に使う兵器を作る人だった。チトは自分の親指に植物を咲かせる不思議な力があることに気付き、町中に花を咲かせようとするが…。フランスの童話らしい、詩的で美しい文章と可愛らしい挿絵で読者を惹きつける一冊。

『花咲家の人々』

村山早紀 著 2012年 徳間書店 BGム

老舗の花屋「千草苑」の経営者一族の花咲家は、先祖代々植物と会話ができる力を持っている。カフェで働く美人の長姉・茉莉亜、現実主義な次姉・りら子、読書好きで夢見がちな末弟・桂。3人はそれぞれ悩みつつも成長をしてゆく。ちょっと不思議でにぎやかな物語。

『花さんぽ』全2巻

森千春 著 2013年 第三書館 910.26モ

作家の作品の中に描かれる植物や花はどんな意味を持ち、思いが込められているのか。よしもとばななど金木犀、吉行淳之介と薔薇、瀬戸内寂聴と蘭、小川洋子とリンデン、伊坂幸太郎とウイキョウ、津島佑子とオシロイバナ…。植物を手掛かりに、作家と作品について語る。



『メジロの来る庭』

庄野潤三 著 2004年 文藝春秋 シ047

子どもが独立し、夫婦ふたりで送る山の上の家で暮らす日々。良き人々と季節の彩に囲まれ、静かな喜びに満ち溢れた人生を綴る。美しい家族の原風景が美しい日本語でふくよかに語られる。雑誌『文学界』で連載されていたものを単行本化。

『平行植物』

レオ・レオーニ 著 2011年 工作舎 973レ

『スイミー』『フレデリック』などで有名な絵本作家レオ・レオーニが、架空の植物の起源や形態を、学術論文めいた叙述と詩情豊かなスケッチで描きだす。幻想の庭、想像の山野に生える数奇な植物たちの植物館。本文挿絵は、すべて著者の創作とは驚き。

『しずかに流れるみどりの川』

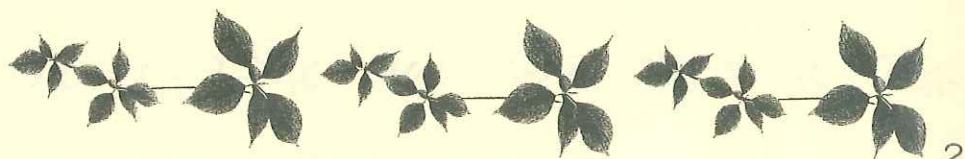
ユベール・マンガレリ 著 2005年 白水社 953マ

見渡す限りどこまでもふしぎな草が生い茂る原っぱの真ん中の小さな町。電気も止められてしまうような貧しさの中で寄り添う、少年プリモと父親。2人は裏庭に自生する“つるばら”を育ててひと稼ぎしようと夢を見て、毎日丁寧に世話をするが…。少年の回想による親子の物語。

『イーハトーブ・ガーデン 宮沢賢治が愛した樹木や草花』

赤田秀子 写真/文 2013年 コールサック社 910.28ミ

文学と博物誌の壮大なコラボレーションともいえる宮沢文学。その根底には自然への共感と敬意が感じられる。美しい植物図鑑。



～イギリス文学と庭～

ガーデニング文化が盛んなイギリス文学と関連図書の紹介

『秘密の花園』

バーネット 著 2007年 光文社 **BRハ**

両親を亡くした少女メアリーは大きなお屋敷に引き取られることに。ある日、入ることを禁じられていた廊下の奥から、子どもの泣き声が…。体と心を病む少年と少女の出会いと「再生」を描いた物語。ヨークシャーの自然にいやされる。登場する秘密の花園はケンブリッジにあるグレイト・メイサム・ホールの庭園がモデルとされている。

『トムは真夜中の庭で』

フィリッパ・ピアス 著 1988年 岩波書店 **930ヒ(児童)**

20世紀を生きる少年トムは、真夜中に時を刻む柱時計の音に誘われ、19世紀末（ビクトリア朝時代）の庭園に迷い込んだ。そこで少女ハティと出会い…。古典的な19世紀後半のイングランド式フラワーガーデンを思わせる庭園が描写されている。

『英国庭園を読む 庭をめぐる文学と文化』

安藤聰 著 2011年 彩流社 **629ア**

なぜ英国はガーデニング王国と言われるのか。イギリス文学のなかにも多くの庭園が登場している。英国の庭園史と文学史を合わせて辿り、英國文化の特質に迫る。英國の主要庭園リストも収録。

YAにおすすめ！

中高生のみなさんにおすすめの本を紹介します

『マンガがあるじゃないか わたしをつくったこの一冊』

河出書房新社 編 2016年 河出書房新社 **726カ(YAコーナー)**

小説家、評論家、漫画家をはじめとする、様々なジャンルで活躍している著名人29名が、中高生の皆さんにイチオシする、名作、傑作、衝撃作のマンガを紹介。

『墓守りのレオ』

石川宏千花 著 2016年 小学館 **913イ(YAコーナー)**

墓守りを仕事とし、墓地に暮らす少年レオ。そんな彼には靈たちと会話をする不思議な能力があった。その能力で「死」に足を踏み入れた人たちを救ってゆく異色のファンタジー。人気シリーズ『死神うどんカフェ1号店』の著者の新刊。

新着本コーナー

最近今川図書館に入った本から、お勧めの本を紹介します。
(新着コーナーにあるものもあります)

『逆立ちの世の中』

花森安治 著 2016年 中央公論新社 BGハ

『暮らしの手帖』初代名物編集長の著者が、60年以上前に刊行したエッセイを文庫化した作品。やさしく、軽快な言葉で、日常をユーモラスに綴っている。現代にも通じる一冊。

『自力で腸を強くする30の法則』

辯野義己 著 2016年 宝島社 491.3ヘ

腸の重要性が叫ばれる昨今。腸内細菌の専門家である著者が、普段の食事や生活習慣を改善して、腸を強くする方法を解説。

『トウガラシの世界史 辛くて熱い「食卓革命」』

山本紀夫 著 2016年 中央公論新社 A

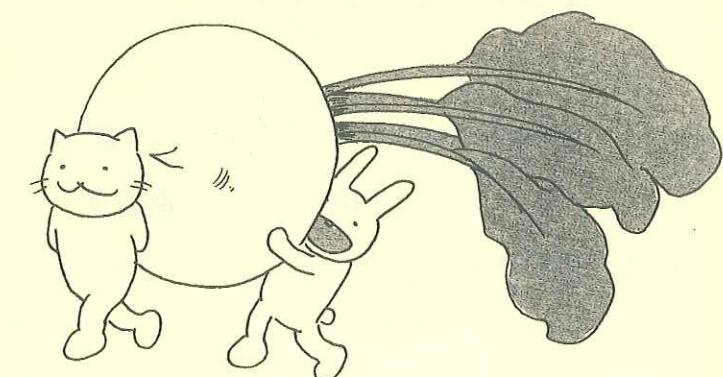
新大陸から伝わった当初、「食べると死ぬ」と言われたトウガラシが500年のうちに世界を魅了した。インドのカレー、キムチ、京野菜。各地を訪ね、その香辛料の歴史と食文化を紹介する。

『名作うしろ読みプレミアム』

斎藤美奈子 著 2016年 中央公論新社 O19サ

「吾輩は猫である。名前はまだ無い。」という書き出しが有名な『吾輩は猫である』。その終わりはどうなっている?古今東西の名作137冊をラストの一文から読み解く文学案内。

Memo





4月今川図書館カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
					1	2
(3)	4	5	6	7	8	9
	休館日				青空おはなし会	
(10)	11	12	13	14	15	16
	おはなし会			おはなし会		
(17)	18	19	20	21	22	23
	おはなし会リレー			休館日		
(24)	25	26	27	28	(29)	30
	おはなし会	赤ちゃんおはなし会		おはなし会		
開館時間 月～土9時～21時						
(○の日(日曜・祝日・年末)は9時～17時						
休館日 第1月曜日・第3木曜日						

おはなし会については児童向け図書館だよりをご覧ください

杉並区立今川図書館

杉並区今川4-12-10 TEL 03-3394-0431